



世帯数 5,973戸
人口 14,502人
(平成28.11.1現在)

第3回寿地区防災訓練

10月2日(日)に寿地区防災訓練が実施されました。赤木町会では防災会を中心に、寿地区共通訓練項目の確認をし、事前会議にて意見集約を行うとともに全戸に対し周知を図り、協力を依頼しました。



町会別訓練では、備蓄している防災資材の点検及び取り扱い訓練を基本に行いました。段

ボールベッド・簡易トイレの組立て、発電機・投光器の取り扱い、非常食の調理及び提供を防災会各班で行いました。

今後も地域防災の向上に向けて、老若男女、人と人との触れ合いや支え合いなど、目に見えない部分での助け合いを根付かせていって欲しいと願っています。

(赤木防災部長 古屋 賢司)

寿地区住民運動会

久しぶりの晴天のもと10月16日(日)寿小学校校庭において、寿地区住民運動会が開催されました。

今年は14種目で争われ、参加した12町会が大優勝旗を目指し、それぞれの競技で熱戦を繰り広げました。

今回も筑摩野中学「コミニティースクールふたむら」の生徒さん達40名がスタッフとして参加し、大会運営に大活躍してくれました。では、注目の種目をいくつか紹介しましょう。

【綱引き】

今年も2ブロック制で小学生男女各2名を含む男女12名で競う変則的な方式が採用され



綱引き



年代別リレー

ました。旗振りの合図に合わせて渾身の力を振り絞って大綱を引き合う熱戦が何試合も見られました。

【タル回し】
この競技は以前から行われている競技ですが、自分の意図する方向とは全く違う方向に動いてしまうタルを追いかけの姿が笑いを誘っていました。やはりこの競技はかなりコツが必要になるようでした。

【たから拾い】
来賓・60歳以上の男女及び未就学の幼児を対象としたこの競技も以前から引き続き実施されておりますが、得点を競う種目とは違い、会場の皆をひと時でも和ませることの出来る唯一の種目です。

最近の寿地区住民運動会は開催規模が半日に短縮され、参加者も年々減少傾向にあります。が、寿地区の団結力と絆を深める一大行事であり、今後も継続した実施を望みたいと感じました。

この大会を企画・運営された役員・選手集めに奔走した各町会の体協の皆様

さん・お手伝い頂いたCSふたむらの生徒さんご苦労さまでした。

(館報編集委員 百瀬 肇)

寿地区住民運動会にCSふたむらとして参加して

前日の天気曇りだったが、当日はとても良い天気になりました。去年の寿地区住民運動会では選手としても参加をしましたが、今年はCSふたむらとして参加をさせていただき、放送係を担当しました。

本部席から見ていると、どこの町会も当日に向けて一生懸命練習してきた様子が見え、また、リレーをはじめ、他の様々な種目でも最後まで精いっぱい取り組んでいる地域の方々の姿を見る事が出来ました。

この寿地区住民運動会は、優勝することだけが目的ではなく、町会同士の方々が親睦を図ることがよく分かりました。

来年の運動会も楽しみにしています。

(豊町町会 大澤 萌花)

ようこそふれあい会食会へ

このところの雨続きの日々、10月7日(金)に65歳以上の一人暮らしのみなさん55名を迎えて寿地区ふれあい会食会が開催されました。



ふれあい会食会は松本市社会福祉協議会寿支会や民生・児童委員協議会、健康づくり推進員

会、食生活改善推進協議会、寿地区福祉ひろばの共同体が運営し、一人暮らしの高齢者をおもてなしするものです。

第一部は寿小学校5年3組児童による歌のプレゼント、松本市健康づくり課の健康運動指導士による手遊び・脳トレで楽しんで頂きました。

第二部では心温まるお料理を召し上がっていただき、参加者の皆さんからは「大変美味しかった」との好評を頂きました。



(社会福祉協議会寿支会長 久保田 幸康)

わがまちこの人

小池町会
宮総代会

『伝統行事継承の難しさ』

わが町この人に個人ではなく団
体を取り上げ『宮総代会の活動と
課題』をお伝えします。

小池町会の宮総代会は任期二年
で総代長・副総代長・会計の三
役とその他の総代五名がその任
に付いております。

小池神社の年四回の例大祭を、
各常会に割り当てられた当屋と
協力して、企画・運営をしてお
ります。

例大祭の一週間前の神社の清
掃、例大祭前日の準備、当日の
準備と神事等が、年四回ありま
す。清掃作業には、筑中生徒の
奉仕活動やおもとの会の協力もあ
ります。

『課題その一』

九月の大祭では古くから伝わる
「御神楽」の奉納があります。「笛・
太鼓・唄・獅子舞」がありますが、
現在では「笛・太鼓・唄」は演奏
出来る人がなく録音テープを流し
ています。また「獅子舞」も踊れ
る人が限られています。過去には
「子ども育成会」が中心となり獅
子舞の練習をしたこともありまし

たが、高校・大学と進学するにつ
れて、継続できなくなりいつの間
にかこの練習も消滅してしまいま
した。継承していくための良い方
法はないものかと思案中です。



御神楽

『課題その二』

以前からお祭りの準備や運営は
「若連会」が中心となっておりま
したが、会員数の減少が続く開店休
業状態となつてしまいました。

「若連会」への加入の呼び掛けも
行いましたが、ほとんど反応もな
く「若連会」に替わる組織の必要
性に迫られ「宮総代会OB会」を本
年度立ち上げました。過去五期に
廻り宮総代会三役経験者にお願ひし
ました。

宗教のことは各人の心の問題で
はありますが地元産土神社は大
事にしていきたいと思ひます。
(宮総代 清水 壽雄)

百瀬町会

敬老会

9月19日(月)敬老の日10
時より百瀬第二公民館にて百
瀬町会敬老祝賀会(シニアの
集い)が開催されました。

参加者は百瀬町会の75歳か
ら93歳の皆さんが51名、町会
役員の皆さんが25名の総勢76
名でした。

参加者全員で記念撮影が行
われました。

横川評議委員長の開会の言
葉、百瀬町会長の挨拶の後、
参加者でお食事とお酒を楽し
みました。

催しものとして、アルパ演
奏会、踊り披露、カラオケ大
会が行われ、会場が盛り上が
りました。

参加者に感想を頂くと、「こ
の場に出られる健康に感謝し
たい」とのことです。

参加者の皆様へ「長寿のお
慶びを申し上げます。
(館報編集委員 萩原 寛之)



アルパ演奏会



ご歓談の様子

第67回

筑摩野中学校文化祭 りんどう祭

筑摩野中学校にて9月30日
(金)10月1日(土)の2日間に
わたり「第67回りんどう祭」が
開催されました。



1日目は意
見文・科学部・
演劇部のス
テージ発表が
あり、筑輪祭
(ちくわさい)
では学年別ク
ラス対抗の大縄とリレーがとり
行われました。ファイナルは先
生VS3年生のリレーでした。こ
数年最下位だった先生方が奮
闘してなんと最下位を脱出し
大盛り上がり筑輪祭でした。

2日目は合
唱祭が行われ
ました。地域
の方々の「栄
光の架橋」の
素晴らしい歌
声、先生方の
寸劇を交え
た「365日の紙飛行機」の発
表では会場中の笑いを誘ってい
ました。生徒の皆さんの素晴らし
いハーモニーを聞きながら癒しの
一時を過ごすことが出来ました。
(館報編集委員 下平 圭子)



誇りの橋を築中にする

第28回

文化祭協賛事業 寿地区史跡巡り

11月3日(木)に第39回寿
地区文化祭の協賛事業として
寿地区史跡巡りが行われまし
た。当日は天気にも恵まれ出
発地点となる寿小学校には親
子連れの方も含め、50名ほど
の参加者が集まりました。

今年
小池地区
の史跡巡
りという
事で、小
池砦や小
池遺跡な
どの史跡
を約4時
間かけて
巡りまし
た。
講師を務めて頂いた寿史談
会の青木教司先生と御子柴宏
先生のお二人からは、建物跡
や道祖神等の説明のほか、歴
史的な背景や地形の成り立ち
など様々な解説をしていただ
きました。



地域の歴史を後世に語り継
ぐ貴重な行事のひとつとし
て、今後も継続して実施して
ほしいと感じます。
(館報編集委員 百瀬 肇)